

66 体型からみた Straight Skirt の構成に関する 研究 (第2報) Dart の分量について

帝塚山学院短大 南日 朋子
金集 悦子

第1報において、体型を基礎とした Straight Skirt を構成するため、被検者100名について胴囲、腹囲、腰囲断面曲線とその偏平率を計測し、それにより腰部体型曲線は丸型、普通型、偏平型の3種に分類出来ることを明らかにした。又、腰部体型曲線の曲率分布よりその最大値に Darts をつけるとすれば、その位置は前身頃では Side より $1/4$ 、後身頃では Side より $1/2$ よりやや後よりの位置に相当する。

本報においては前記100名の被検者について丸型、普通型、偏平型の別に、胴囲、腹囲、腰囲の各平均断面曲線を求め、これに基いて Dart の分量を決定した。すなわち、上記3種の体型の平均の大きさより用布量を求めこれに8本の Dart を等分に配布し、各 Dart の受持つ区分における胴囲の周囲長と腰囲の周囲長の差より Dart の分量を決定し、次いで、胴囲、腹囲、腰囲の差により生じる分量によって Dart の長さを決定した。

次に、自由曲線人台を用いて3種の平均体型を作り、これに上記の作図によって製作した Skirt を着用させ、Dart 線、しわ等を検討した。又上記の作図法によって求めた Dart の分量並びにその配布をも比較検討した。